2024年度　　下期

令和７年１２月１８日

みやぎ生協　福祉活動助成金　助成活動報告書

団体名	ハッピースマイル
代表者名	及川　里美
連絡先 TEL：０９０－２９８７－５３４８ FAX：	E-mail kirakira-star31031031@docomo.ne.jp

１、助成事業報告

助成を受けた事業名	地域交流事業(ささえあいの地域づくり)
事業の目的	地域の人々との親睦と交流を図り地域福祉の推進に寄与すること (会則第３条目的より) 【事業の目的】 ・当地区(東松島市大塩地区)は、東日本大震災において被害を受け、その後仮設住宅が建設された地区です。当時はさまざまな地域支援も入りましたが、現在は再建期にあり、今後の地域コミュニティづくりについては住民の力にて行っていく必要があると感じております。人と人がつながり協働できる「意図的なつながる場」を地域の中につくる事で、地域コミュニティの向上と『ささえあいの地域づくり』につなげていく事が目的です。
事業の具体的内容	■毎月１回　地域食堂の開催(+αで世代間交流・子育て支援・季節の行事・多職種打合せ等) 【開催日時】毎月１回日曜日　１０時から１５時 (出入り自由・子どものみの参加も可能) 【開催場所】中区地区センター

	【参加対象】男女年齢問わず誰でも参加可能 【事前予約】必要なし。当日参加大歓迎 【参加費】　一人３５０円(無料開催になる時もあり) 【４月から９月の開催日と参加人数】 ４月２７日　２７名 ５月２５日　３１名 ６月２１日　２９名 ７月２０日　２８名 ８月２４日　２４名 ９月１５日　２８名
活動の開始から完了までの流れ	【開催前】 ① 役員会の開催(次回の内容について打合せ) ② 会場の予約(自治会長にてセンター予約の確認) ③ 買い出し(当日使用する食材や必要物品の購入) 【当日】 ① 地域食堂の開催(季節の行事や世代間交流等あり) ② 当日の振り返り(役員間にて気づきや今後の課題等の共有。児童に関する事は、必要に応じて学校とも情報共有。) ③ 次回の役員会の日時決め。
活動の成果と教訓	■成果として感じられたことは下記の内容です。 ・毎月開催する事で、地域の中でも少しずつ当団体の活動が認識されてきております。 ・地元小学校の校長先生が初めて見学に来て下さり「地域にこのような場がある事はとても良い事ですね」と学校側の関心も伺えました。【地域の中でも集いの場の周知】 ・リピーターの参加者も多く、お互いに顔なじみとなり、この場を通じて知り合った人同士が、日常の中でもお互いに声をかけやすくなった。(見た事がある人から○○さんと名前を呼んで話ができるようになった)【顔の見える関係づくり】 ・この場で知り合った人達が、日常でも野菜のおすそ分けやお茶会を行うなど、ふだんの暮らしの中でもつながり、交流の機会が増えた。 ・参加者同士が近所だった事を知り、「釣りに行って来たので魚の差し入れ」と、わざわざさばいた魚をいただいたという話も聞きました。【日常でのつながり】 ・参加高齢者の方からは、「家にばかりいると会話も情報も少ないので、ここに来るといろんな刺激があってボケ防止になる」と喜びの声が聞かれるように、社会参加や介護予防の場にもな

	っていると感じています。【社会参加と介護予防】 ・民生委員さん、主任児童委員さんも参加のため、子供たちの様子で気づいた事があれば、学校と連携して情報共有しながら子供たちの見守りを行ってくれています。【地域の中で子どもの見守り】 ・毎回４名の仲間で来てくれる女性高齢者グループの皆さん、初めは参加者側で来ていましたが、「私たちにも出来る事があればお手伝いさせて下さい。」と担い手側に回って、今では料理作りを率先して手伝ってくれています。一人一人できる事、役割を持って、皆に喜んでもらえる事が嬉しいそうで、この場を通じて、その人のできる事を発揮できる場趣味や特技を活かせる場にもなっていたのかなと感じました。【役割】 ・高学年の児童は低学年の遊び相手を行うなど、いろいろな世代が集まるからこそ、学校や家庭とはまた別な子供たちの姿が見られました。また、ここに参加している大人の方々も、子供たちのいけない事は注意し、良い事はたくさん褒めるという事も行っております。それはお互いに顔の見える関係ができているからこそだと思います。 ・「最近の子どもって賢いね。何でも知っていて、私たちが知らない事を教えてくれていい刺激と勉強にもなります」との声も聞かれました。【世代間交流】 ・週末は孫２人の子守りをしているという８０歳の男性は、毎月孫２人を連れて参加しており、「こういう場があると助かります」と話がありました。ここに来れば皆と遊べて、皆で交流をしながら手作りのおいしいお昼を一緒に食べ、地域の話や学校の話等も聞く事ができると感謝の声が聞かれました。この男性は高齢ながらも毎回子ども達のゲーム係を担ってくれており、こちらとしても大変助かっております。【子育て支援】 ・この場の開催にあたり、学校、民生委員児童委員、地域包括支援センター等、いろいろな職種の方々からも協力をいただきながら開催できております。【多職種連携】
今後の展望など	■長期休暇(夏休み・冬休み等)における子どもの居場所づくりと学習支援。 長期休暇中は親は仕事のため、子どものみで留守番をしている現状も聞かれているため、親としては子どものみでの過ごし方や、食事の面など、不安や負担もあるという話も聞こえています。また、宿題への取り組みについても、子どもの宿題ではなく、親の宿題(親が教えている、手伝っている、親の方が焦っている等)となっているという話も聞いている事から、長期休暇中の居場所(学習支援と食事支援)が提供できる環境も作っていく事が出来れ

	ばと考えております。(自主性・自発性への支援)また、そこに携わって下さる人(学習支援をサポートしてくれる方)にとっても、知識や経験を活かす事ができる、生きがいづくりの場等にもつなげていく事ができればと考えております。 ※今後の活動を通じて、気づいたことや、ニーズに応じて当団体でできる事を行っていければと思います。

2、助成金使途報告書

■　収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
みやぎ生協福祉活動助成金	１００，０００	
自己財源	２８	
合計	１００，０２８	

■　支出の部

費目	内容	予算額（円）	実支出額
食材費	野菜・生鮮品・菓子・飲み物・調味料等	２６，０００	２８，６１５
消耗品	洗剤、ごみ袋、ラップ・キッチンペーパー等	１２，０００	９，８３８
物品費	季節の行事や世代間交流・レクリエーションに使用する物品等	１２，０００	１６，５７５
印刷費	チラシ作成に伴う用紙やインク代等	２０，０００	２０，０００
講師代	講師謝礼	３０，０００	２５，０００

合計		１００，０００	１００，０２８

＊用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

３、送付必要書類

① 福祉活動助成金　助成活動報告書
　プリントアウトしたものを１部郵送、データもメールでお送りください。

② 領収書のコピー（郵送）

③ 成果物（活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送）
　＊写真は郵送とメールで送ってください。


adidas



